

境界のかたち 現代美術 in 大府

ギャラリーや図書館を併せ持つアローブを舞台に現代アートの展示会を23日間にわたり開催します。

期間 1月23日(土)〜2月14日(日) 午前10時〜午後6時 ※期間中無休
場所 アローブ
主催 現代美術地域展開事業実行委員会、大府市
料金 無料 ※一部イベントのみ有料
文化振興課 ☎(45)6266

出展アーティスト

うしお



『Where Are You?』 2016年

「思いどおりにならない状況」をテーマに据えながら、江戸時代に船で漂流した人物の経験についての話から、生死の境をさまようような人間の状況について考えます。

折原 智江



『緑香の松』 2017年

扱う素材の特性を踏まえながら、自分自身の身体感覚や認識を織り交ぜた作品を制作。言葉を記録された書物や紙をモチーフに「図書館での展示会」ならではの作品を展示します。

下道 基行



『14歳と世界と境』 2013年

14歳の中学生に「身の回りにある境界線」を探してもらい、その文章を新聞に連載しました。「子ども」と「大人」の境界に揺れる年代の言葉と想像力にハッとさせられます。

平川 祐樹



『Years Later 1918-2019』 2019年

火災などでフィルムが失われてしまった昔の映画の物語はどこに残されているのか? セットを再構成しながら、過去と現在の複雑な距離を静かな映像の中で感じさせます。

松川 朋奈



『それが私にできる全てだった』 2019年
 ©The Artist, Courtesy of Yuka Tsunuro Gallery, Photo: Ken Kato

現代に生きる女性たちのリアルな姿を写実的なスタイルで描き続けている画家。一人の女性の絵である以上に、女性たちが生きる社会そのものを捉えることにもなっています。

現代美術地域展開事業への熱い想い / 企画者からのひとこと

国境や県境をまたいで移動の自粛や、画面を介したオンラインでのコミュニケーションが増えるなど、この1年で私たちの生活や「境界」への意識が大きく変化しました。もしかしら、閉塞的な空気を感じている人もいるかもしれません。しかし、窮屈に見える境界も、視点を変えるだけで乗り越えられるものもあるのではないのでしょうか? この展示会で、アーティストたちの想像力を通じて、身の回りの境界について考える新しいヒントを見つけてもらえたらと思います。



現代美術地域展開事業キュレーター 塩津 青夏

見どころ 1

アローブ全体が美術館に!?

アローブ全体を利用して、絵画・彫刻・映像など国内外で活躍する6人の現代美術作家の作品を展示します。現代アートに興味がある人やそうでない人も、この機会に気軽にアートに触れてみてください。

見どころ 2 現代美術を

「観て・聴いて・体験しよう!」

出展作家によるアーティストトークショーやワークショップなどを開催します。展示作品の制作話を聴いたり、実際にアート体験したりすることで、より一層現代アートに親しむことができます。

見どころ 3

茶碗や湯呑みが楽器に変わる!?

kajiiの日用品楽器コンサート

現代美術展で食器は歌う

日用品演奏ユニット「kajii」が茶碗や湯飲み、井などを並べたオリジナル楽器を使ったコンサートを開催します。

- ▶日時 1月30日(土) ①10:30 ②14:00
- ▶場所 アローブこもれびホール
- ▶定員 各100人(先着順)
- ▶料金 各500円(当日集金)
※3歳未満は膝上鑑賞無料
- ▶申込 直接文化振興課または現代美術地域展開事業ウェブサイトから。

出演アーティスト「kajii」

メンバーのクマーマと創が「音楽と楽器をもっと身近に」という願いから、100種類以上の日用品楽器を創り出し音楽を奏でる。名古屋を拠点に全国各地でコンサートやワークショップ、特別授業を行うとともに多くのテレビ番組にも出演しています。



詳細は、現代美術地域展開事業ウェブサイトをご覧ください。



Art Obulist
2021 序

同時開催

鈴木昭男 | 音のみちくさ おと だて 「点音」in アローブ

世界で活躍するサウンドアーティストの鈴木昭男さんが、アローブを舞台に代表作「点音」やパフォーマンスなどのイベントを行います。

※Art Obulistは、2016年から始まった大府市が展開するアートプロジェクトです。

event 1 「点音」in アローブ

鈴木さんがアローブで見つけた5カ所の音響ポイントに「点音」マークが出現。マークを見つけたら、足をそろえて、そこにしかない音にゆっくり耳を澄ませてみてください。

「点音」とは

地面に白くペイントした耳のような足型のマークの上に立って耳を澄ませ、誰もが参加できる音の作品です。



event 2 耳のパフォーマンス

鈴木さんが、創作楽器などを使って即興で演奏します。

- ▶日時 2月14日(日) 14:00
 - ▶場所 アローブこもれびホール
 - ▶定員 100人(先着順)
 - ▶料金 500円(全席指定・膝上鑑賞無料)
 - ▶申込 1月4日(月)から直接文化振興課・アローブで販売。
- ※電話や専用申し込みフォームでの予約(当日集金)が2月12日(金)の正午まで可能ですが、座席指定はできません。

申し込みフォーム



event 3 資料展示「点音」in アローブができるまで

アローブ図書館入口前のライブラリーギャラリーで、「点音」in アローブの制作ドキュメントなどを展示します。

Profile

鈴木 昭男 79歳

京都府京丹後市在住。小牧市育ち。音の作品を中心に制作し世界各地で活躍。日常のさまざまな素材から音を導き出す演奏家としても知られている。